



セントポールズ・リリー

立教セカンドステージ大学 社会貢献活動サポートセンター

RSSC プラチナ社会創造研究会

ニューズレター

Vol.1 Jun, 2016

トピックス

昨年度は日本版 CCRC、地方創生、豊島区・秩父市共生PJをテーマとして活動いたしました。今年度は、豊島区が秩父市との共生に積極的になってきていることから「豊島区・秩父市共生PJ」に注力して活動します。2016年度は8期生によって運営しますが、6期生から9期生まで多世代で活動します。会員のみなさま積極的なご参加をお待ちしています。
(代表 小池久雄)

第1回5月 研究会報告

- ① 2016年度活動方針発表 代表 8期生小池久雄
- ② 講師 三菱総合研究所 主席研究員 森卓也様
- ③ 講師 RSSC 社会貢献活動サポートセンター顧問 坪野谷雅之先生

■ 期日:2016年5月25日(水)13:00~14:30 ■ 会場:セントポールズ会館(芙蓉) ■ 6期・7期・8期 計19名

① 2016年度活動方針発表 代表 8期生小池久雄

7期生の運営におかれましては、数々の輝かしい活動実績を残されました。今期もその趣旨、方針を引継ぎ活動して参ります。



2016年度活動方針発表する8期小池代表

④ 多世代(6期生~9期生)による活動

RSSCの研究会、同好会はややもすれば単一期生による活動になりがちですが、本研究会においては、引続き多世代により活動します。多世代交流により、その経験を共有し、結果として研究成果の質を高めます。

⑤ 「豊島区・秩父市共生PJ」に注力する

坪野谷先生と高野区長のご関係よりスタートした本プロジェクトは、2016年3月11日に豊島区に提出した「秩父視察に基づく提言書」が評価され、このたびプロジェクトの正式メンバーとなりました。

詳細は岩熊副代表、および森主席研究員、坪野谷先生から説明していただきます。

① 研究会 登録会員数

6期生 6名 7期生 17名 8期生 17名
合計 30名

② 三菱総合研究所との連携

引続き三菱総研と連携し、キラキラ輝く「プラチナ社会」を創造するためのフィールドワーク、研究、提言活動を行います。

③ 「二地域居住」を年度のテーマとする

地域創生においては、都会人の地方移住をイメージしているが、「移住」が必ずしも最終目標ではない。ひとそれぞれにストーリーを持っており、「二地域居住」は「移住」よりも現実的な選択であろうという前提で研究活動する。

② 講師 三菱総合研究所 主席研究員 森卓也様

「二地域居住を推進する自治体事例」と「豊島区・秩父市共生PJへの積極的取組み」



三菱総研森主席研究員による講演

神奈川県三浦市の二地域居住

三浦市が企画中のVTR紹介

- ・好立地、都心から90分と近い 二地域居住に適している。
- ・三浦市の提供する支援サービス等が充実している
健康管理、買い物、仕事、ボランティア、市民講座、
地域参加など。
- ・市民の声
新鮮なさかな、温暖な気候、質の高い生活、自分
らしい生き方が出来る。

岩手県八幡平 地方リゾート型CCRC

2015.7に開業済み「oak Field」

東北地域の住民が居住してきた。

集客を考慮し、建物は改築ではなく新築した。

行政はルネサンス社と組んで、見学客をツアーで視察に
呼び込んだ。

開業後に見えてきた課題

- ・部屋が狭い23㎡程度 もっと荷物を整理して移住
すると踏んでいた。
- ・交通事情 二次交通の整備が必要 車、カーシェア
リングなど。
- ・金融機関からは、要介護の方も受け入れて収益性を
アップしたらどうかとのアドバイスがある。
(現状は健康な方の移住を前提としている)

秋田市 駅前高層ビルCCRC

駅前マンション型のCCRC事例もある。

秩父市×豊島区 CCRC 構想実現化プロジェクトを進めるに

あたって

(以下森講師の講演資料より)

① ワークショップを「楽しかった」で終わらせない。

- 「成果発表」ではなく、「成果を採用するかしないか」
を問う場に。

→坪野谷先生に講評いただくのではなく、秩父市
長に採否を問う。

- 「現地視察」を単なる見学旅行にしない。

→ショートステイによるフィールドワーク。

② ワークショップを「他人事」で終わらせない。

- ワークショップ・アウトプット(成果物)を実りある
ものに。

→秩父市側からの問題提起(NPO・企業)に対す
る解決策の提示。

- 思いつきのアイデアでなく、「自分事」として考える。

→ワークショップ終了後に参加者を構想実現の担
い手とする仕組み。

③ ワークショップだけではアイデアはではない。

- ワークショップ以外での検討が鍵。

- ワークショップとは別に、RSSCメンバーとして構
想案を。

③講師 RSSC社会貢献活動サポートセンター顧問 坪野谷雅之先生

「新しいライフスタイルの生き方」



坪野谷先生講演

- シニアは社会のコストではない、地域活性化のパワ
ーである。
- 来年RSSCは10周年を迎える。文化は5年、伝
統は10年、というスピードの時代である。RSS
Cの10年はまさしく伝統となった。
- RSSCでは、春学期に「修了生が語るアクティブ
シニアの生き方」が開講され、秋学期には三菱総研
の松田主席研究員、森主席研究員を講師にお迎えし
て「アクティブシニアの21世紀社会共生」を予定
している。
- 教育の世界でもイノベーションを図る必要がある。



総会後の集合写真

以上

RSSC プラチナ社会創造研究会

代表 8期生小池 久雄、副代表 8期生岩熊 徹、

総務 8期生青木 美恵 rsscplatinum@gmail.com